ぜひともお詣りくだ

年末年始、上寺山へ



上寺山餘慶寺 編集・発行

- 4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

TEL 086 TEL/FAX 086 - 942 - 0186 - 942 - 3788 FAX 086 - 942 - 0187

本乘院 - 942 - 2791 FAX 086 - 239 - 5823

-942 - 3789

TEL 086
TEL/FAX 086
TEL 086 - 942 - 2356 - 943 - 1030 定光院 FAX 086 - 944 - 1490 TEL 明王院 FAX 086 - 943 - 1069

- 942 - 2356 TEL 086 圓乗院

-ジアドレス

http://www.yokeiji.com/

一寺山両詣り ~すべてを結ぶ 「思いやり」

実社会です。 す。そして置き去られた被災者や被害者。これが現 明日になれば昨日のニュースさえ忘れ去られていま ナウンサーの表情が、今度は一変笑顔になっています。 レビの中では、先ほどまでしんみりと伝えていたア ました。めまぐるしく変わっていく情報化社会。テ ある一部の人たちによって、悲惨な事件も累々とおき 厳しい一年でありました。また日常の生活に不満の 平成二十六年は気候変動や地殻変動、 世界情勢の

保たれます。・・・全 れば、み仏と私と、悩 れてしまいます。 いを遣る」ことが必要 ますように。今こそ「思 ての人々が幸せであり める人々とのご縁が や願いを持ち続け 祈

> 冬 77

十二月三十一日 (水)



てお焚き上げいたします。 を過ぎゆく一年に感謝の意をこめ

除夜の鐘つき(餘慶寺鐘楼)

餘 慶

寺

世の中のご縁がほつ

れど祈りや願いがなくなれば、

私たちにできることは何でしょうか。まずは

他た 祈 さ

る大般若転読法要を行います。 の家内安全、無病息災をお祈りす え、上寺山と檀信徒の皆様の一年間 お正月のお勤めです。新年を迎 一月三日 (土)

薬師護摩供(薬師堂) 十二月三十一日 (水)

一月一日 (木)・二日 (金) 十一時~十六時 |十一時~翌|時半

所へお願いします。

楊潅頂のお清め(八角堂) 十二月三十一日(水) 月一日 (木)・二日 (金) |十一時~翌|時半 十一時~十六時

さい。

事

修正会(餘慶寺本堂) 夜の鐘を撞きましょう。 の餘慶寺の鐘で、 しいたします。県指定重要文化財 名の方には「鐘撞きの証」をお渡 一月一日 (木):二日 (金) 十時 新年を迎える除

受付しています。

定光院より

十一月~三月 大聖歓喜天縁日(於 午前七時 定光院

※病気平癒等のご祈祷は随時 毎月十五日 早朝より

餘 慶寺より

薬師縁日 護摩供養をしています。 毎月八日 ご祈祷のお申し込みは納経 八月はありません。) 於 午前十時 薬師堂

観音縁日(於 で、お気軽にお詣りくだ みんなで観音経をあげます。 毎月十八日 お経本は本堂にありますの 午前八時 本堂)

各 院 か ら ഗ お 知 ら せ

お

(東向き観音石像前)

恵亮院より

5

古いお札、だるま、お守りなど 十二月三十一日(水)二十一時

毘沙門天王縁日護摩祈祷 ※平成二十七年二月三日は法務 毎月三日 午前十時~ 恵亮院毘沙門堂

本乘院より 写経会(於 本乘院客殿

毎月第三日曜日

除夜の鐘撞きです。先着一〇八

二十三時四十五分

の都合によりお休みします。

新年の各種授与品は回廊にて!初詣の際はお立ち寄り下さい。

薬師堂からのお知ら 世

薬師堂の護摩供養

十二月三十一日(水)二十一時~翌一時半 一月一日(木)二日(金)十一時~十六時

ります。ご祈祷料は、 護摩木は三百円です。 ご祈祷のお申し込みは納経所へお願いしま 年末年始の両詣りの際に厳修します。 両詣りの際には薬師堂にて受け付けてお 五千円、三千円。



なお大晦日~元日にご祈祷を受けた方へは、 (数に限りあり) 福もちをお渡しし

心願成就 安産成就 い事としては・・・ 学業成就 家内安全 病気平癒 良縁成就 心身健全 商売繁昌

厄難消除

他





Ŧî. 十 口 忌 昭和四十 年

年末になりましたら 古 いお札、 お焚き上げ お持ちください。 いたします。 だるま、 お守りを

平成27年 年回表												
\equiv	=	=	=	十	十	七	三	_				
三十三回忌	二十七回忌	二十五回忌	二十三回忌	七回	三回	回	回	周	年回			
忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌				
昭和五十八年	平成 元 年	平成 三 年	平成 五 年	平成十 一 年	平成十 五 年	平成二十一年	平成二十五年	平成二十六年	寂年			

平成 27 年 厄年一覧											
	男性		女性								
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄						
24 歳 平成 4 年生			18 歳 平成 10 年生	19 歳 平成 9 年生	20 歳 平成 8 年生						
41 歳 昭和 50 年生	42 歳 昭和 49 年生	43 歳 昭和 48 年生	32 歳 昭和 59 年生	33 歳 昭和 58 年生	34 歳 昭和 57 年生						
60 歳 昭和 31 年生	61 歳 昭和 30 年生	62 歳 昭和 29 年生	36 歳 昭和 55 年生	37 歳 昭和 54 年生	38 歳 昭和 53 年生						
凉	まはかぞえ歳です	- o	60 歳 昭和 31 年生	61 歳 昭和 30 年生	62 歳 昭和 29 年生						

楊潅頂のお清め (八角堂)

士||月|||十||日(水) 月一日 (木):二日 二十一時~翌一時半 金 十一時~十六時

角堂へお詣りください。お清めを受けられた方全 注いで清めて頂きます。本堂へご参拝の後は、 員に御守りカードを謹呈いたします。 音様にお供えした清らかな霊水を皆様の頭上に 春の芽吹きを象徴する楊の枝を使って千手観



上寺の鐘が九州国立博物館

いよいよ上寺の鐘(梵鐘:県指定重要文化財)が九州国立博物館へ出品されま

日程は平成二十七年一月二十六日(月)十時頃より午後にかけて取り外し作

館十周年特別展)の予定です。

般公開いたしますので、歴史的瞬間にお立ち会いください。

なお、九州国立博物館での展示は平成二十七年四月二十一日~五月三十一日

開

運び出されるのか、専門職の技を見届けたいと思います。当日は作業の様子を一 業が始まります。鐘楼は市指定重要文化財ですが、狭い建物の空間をどのように

中国観音霊場会ホームページ http://www.kannon.org/

毎月十八

ひ とくち法話

手」の表現力

きる一種のことばとも考えられます。 手のしぐさは、人のさまざまな表情や意志を表わすことので

せれば、向き合う相手に対して自分の身と心を手に集中して自 を表わすには拍手をします。音をたてないで静かに両手を合わ る時には手を横に振ったりします。賛成する時や喜びの気持ち 分を丸ごと相手に差し出すことをも意味します。 例えば、人を招く時には手を上下に動かし、 ある事を否定す

と言わています。

心に念ずる祈りのしぐさとなります。その合わせた手は蓮 しようとする姿を表わしているのです。 つぼみを意味しているのです。両手を少しふくらませた合掌を 蓮華合掌」といいますが、それはその人の仏の心がまさに開花 これが、神仏に対して静かに手を合わせれば「合掌」で、

ます。仏像の手や指の形を「印相」といいます。合掌も印相で、 仏とその人とが一体となることを意味しているのです。 右手が仏を左手が人間を表わしており、それを合わせることで また、仏の世界でも、手の形でさまざまな表現がなされてい

対された時、その手の形 すと同時に人間を超えた仏様の世界でも を印相によって説明しておられるのです。 いろいろな意味を示しています。仏像と相 入れることができるように極楽世界の様子 してご拝観ください。 このように、手は人の意志や表情を表わ 阿弥陀如来は、 仏様はそれぞれに印相が異なっています。 全ての人を極楽に迎え (印相) にも注視



大般若経

けで持ち帰り、 中国の唐の時代、玄奘三蔵法師がシルクロードを往復し、インドから命が 大般若経は六百巻という膨大な巻数を誇る「仏教経典の王さま」です。 四年間をかけて翻訳されました。その功徳は絶大である

られ、正月や晋山式(住職就任式)の際に用いられています。 いますが、平成の大修理の際に修復をいたしました。現在は本堂に備え 本書紀』にも伝えられています。その大般若経が餘慶寺にも保持されて 日本では奈良の時代より「大般若経転読会」を行って祈願したと『日

おります。餘慶寺住職が経巻の裏表

その「大般若経」六百巻の一巻ずつに一口一万円のご寄進をお受けして

せていただき、後世へ伝えて参ります。 紙にお施主名とお願いごとの墨書をさ

お願いごとは

供養などをお 願成就、 先祖

ご協力をよろ しくお願い

書きください。 家内安全や心



ます。

特別寄進 の お す す め

山陽花の寺霊場会ホームページ http://www.sanyo-hananotera.com/

毎月第二日曜日 午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

十三仏について〜観音菩薩〜

慈悲の心がまるで母親のような優しさと表現されるためです。 観音さまは「音を観る」と書きますが、これは我々の救いを求め 観音さまはとても優しいお顔をされています。これは観音さまの

る声を聞きもらすこと無く、悩みや苦しみから救い出して下さると

言う意味です。

ます。これは人々を救うのに必要な手立てをたくさん持っていて、 また観音様はいろいろなお姿に変化されて人々を救うとされてい

それに応じて姿を変えるとされているからです。

千手観音(本堂・定光院・本乘院) 上寺には多くの観音さまがおまつりされています。

聖観音(薬師堂・十三仏堂・吉祥院)

十一面観音(薬師堂・明王院・定光院・恵亮院)

如意輪観音 (明王院)

不空羂索観音(吉祥院)



会場

よけいじ寺子屋(予定)

餘慶寺会館(十四時~)

寺子屋便り

州の鋳物師との関わりなど興味深い話に聞き入っていま をお招きし、『餘慶寺の梵鐘と豊後・大友氏』という題 目で講演をしていただきました。台風が接近する中でし 盛会の内に終えることができました。(写真 した。講演後も時間の許す限り活発な質疑応答が行われ、 たが、大勢の方が聴講に訪れ、餘慶寺の梵鐘の特徴や九 先日の寺宝展の際は、九州国立博物館の望月規史先生

で、どうぞお気軽にご参加ください。 餘慶寺では、今後もさまざまな講座を開講予定ですの

今後の予定

☆『法事について』

十二月十三日(土)

横野祐彰師

講師 恵亮院名誉住職

☆『「天台宗歌」~ご詠歌について~』 月十八日 (日)

講師 柆田宏全師

円珠院住職

 $\stackrel{\wedge}{\sim}$

『梵鐘運び出し作業の特別公開』一月二十六日(月)

※時:十時~十六時 場所:鐘楼周辺

実際に梵鐘が取り出されるのは午後になる予定 です。時間詳細は当日ご案内いたします。

☆『「分かりやすい仏教講座」~その1~』 二月十四日 (土)

☆『餘慶寺古文書読解 (仮)』 定光院・円乘院住職 |月二十|日(土) 西野祐誠師

※聴講無料です。

講師

瀬戸内市教育委員会 社会教育課

村上岳先生

お迎えください。 よう、良いお年を

編 集 後 記

ものです。 なと毎年感じる すと、今年の年の 善を作成していま 瀬も近づいてきた 十二月号の積

邪などひきませぬ が師走ですね。風 良いのですが・・・。 く快適であると 例年よりも暖か 快適でした。冬は 比べて夏が涼しく 何かと忙しいの 今年は例年に

百八観音霊場ホームページ http://108kannon.jp/